

15 スジホシムシ

(スジホシムシ科)

兵庫県ランク: 要調査

Sipunculus nudus

環境省ランク: 指定なし

種の概要

陸奥湾以南に分布する。体長200mm。砂泥質の干潟に巣穴を掘っている。スジホシムシモドキ(その他無脊椎動物Bランク)とは異なり、体軸に対して縦横に規則的な筋が入るため、碁盤目状の模様となる。体表には光沢がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○			○

県内分布

神戸市、たつの市

県内における生息状況及びその他特記事項

Aから要調査に変更。播磨西部では、潮間帯及び潮下帯の水深数mの海底でも潜水採集によって時折採集されていたが、ここ10年ほどは全く見られない。

保護上の留意点

かつては瀬戸内海に多産したと言われるが、現在個体数は激減している。スジホシムシモドキと比較すると個体数はさらに少なく、県内においては極めて危機的な状況と考えられる。底質の環境が整っていると考えられる場所であっても見られないため、水質汚染などによって減少した後、個体群が回復していない可能性がある。安定的な砂泥質干潟の保全が今後必要。



【執筆者】 渡部哲也